

**平成27年3月期
第2四半期決算資料**

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

平成26年10月29日

神奈川中央交通株式会社

一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、4月に相模原市田名地域の交通結節点として田名バスターミナルを開設し、8月には長津田駅北口ロータリーの供用を開始し、駅などへのアクセスの向上を図るため路線再編を実施しました。また、5月に秦野駅～戸川台～渋沢駅北口線の運行を開始したほか、9月には綾瀬営業所・茅ヶ崎営業所藤沢操車所管内の乗降方式を「中乗り・前降り」方式に変更するなど、新たなお客様の獲得や利便性の向上を図りました。

貸切業においては、「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」に基づく単価の見直しや、富士山・富岡製糸場が世界文化遺産に登録されたことを受け、7月に「河口湖ハーブフェスティバルともも狩りツアー」、「富岡製糸場見学」の旅行を企画し販売しました。



供用を開始した長津田駅北口ロータリー

自動車販売事業

輸入車販売がモデルチェンジの効果や新型デザインのコンパクトSUVの発売などにより好調に推移しましたが、商用車販売では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により販売台数が減少しました。



モデルチェンジした
「メルセデス・ベンツ Cクラス」

その他の事業

飲食・娯楽業においては、「らーめん味噌工房町田本店」を「らーめん花樂町田店」へ業態変更を行うとともに、7月に「ドトールコーヒーショップ上野浅草通り店」をリニューアルしました。また、「TSUTAYA金沢文庫駅前店・港南中央店」でコミックレンタルのサービスを導入しお客様満足度の向上に努めました。

また、ホテル業においては、宿泊部門で企業・団体への営業活動を強化したことによりお客様が増加するとともに、料飲・宴会部門ではレディースプランの実施やスキルアップ講座などを開催しました。



リニューアルした
ドトールコーヒーショップ上野浅草通り店

神奈中グループ 子会社27社、関連会社3社

うち 連結子会社 27社

持分法適用会社 2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

《主な連結会社》

- 【一般旅客自動車運送事業】 神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神奈中ハイヤー(株)
- 【不動産事業】 神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神中興業(株)
- 【自動車販売事業】 神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)
- 【その他の事業】 (株)クリエイイトL&S、(株)神奈中商事、(株)アドベル
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	差 引	増減率 (%)	主 な 要 因
売 上 高	53,611	55,069	▲ 1,458	▲ 2.6	レジャー・スポーツ業▲1,627
営 業 利 益	3,776	3,967	▲ 190	▲ 4.8	レジャー・スポーツ業売上原価の減+1,353 乗合業燃料費の増▲153
経 常 利 益	3,732	3,768	▲ 36	▲ 1.0	営業外収益の増+111
特 別 利 益	479	754	▲ 274	▲ 36.4	事業譲渡益▲520 投資有価証券売却益+354
特 別 損 失	161	214	▲ 53	▲ 24.8	早期割増退職金▲59
四 半 期 純 利 益	2,324	2,639	▲ 315	▲ 11.9	

(単位:円)

1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	37.59	42.65	▲ 5.06
--------------------------	-------	-------	--------

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期	差 引	増減率 (%)	主 な 要 因
流 動 資 産	16,587	17,308	▲ 721	▲ 4.2	受取手形及び売掛金▲509
固 定 資 産	121,429	120,197	1,232	1.0	投資有価証券+1,935
資 産 合 計	138,016	137,505	511	0.4	
流 動 負 債	49,497	45,149	4,347	9.6	短期借入金+3,208
固 定 負 債	45,941	52,978	▲ 7,037	▲ 13.3	長期借入金▲8,037
負 債 合 計	95,438	98,128	▲ 2,689	▲ 2.7	
純 資 産 合 計	42,578	39,377	3,200	8.1	利益剰余金+1,941 その他有価証券評価差額金+1,158
負 債・純 資 産 合 計	138,016	137,505	511	0.4	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	差 引	主 な 要 因
営業活動による キャッシュ・フロー	6,385	5,274	1,110	売上債権の増減額+1,077
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,179	▲ 1,566	386	固定資産の取得による支出+888 事業譲渡による収入▲553
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 5,452	▲ 3,929	▲ 1,523	長期借入れによる収入▲1,800
現金及び現金同等物 増 減 額	▲ 247	▲ 222	▲ 25	
現金及び現金同等物 四 半 期 末 残 高	2,053	2,254	▲ 200	

(単位:百万円)

	売上高			営業利益			主な要因
	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	差引	平成27年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	差引	
一般旅客自動車 運 送 事 業	29,761	29,680	81	1,516	1,753	▲ 237	乗合業収入+148
不 動 産 事 業	2,322	2,464	▲ 141	1,206	1,253	▲ 47	分譲業収入▲190
自動車販売事業	11,434	11,638	▲ 204	475	338	137	商用車販売の減▲547
そ の 他 の 事 業	15,280	16,563	▲ 1,282	641	667	▲ 26	遊技場業収入▲1,605

※ 前第2四半期連結累計期間に区分表示しておりました「レジャー・スポーツ事業」については、量的な重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントから除外し、「その他の事業」に含めて表示しております。